投稿規定

2014年1月31日　一部改訂
2015年8月31日　一部改訂
2016年8月31日　一部改訂
2017年8月31日　一部改訂
2018年8月31日　一部改訂
2019年8月31日　一部改訂
2020年4月1日　一部改訂
2021年8月31日　一部改訂
2021年10月1日　一部改訂
2022年7月1日　一部改訂
2023年12月1日　一部改訂
2025年1月1日　一部改訂

A.　投稿資格

筆頭著者は原則として一般社団法人日本脳神経超音波と栓子検出学会の会員であることとする．

B.　研究倫理指針の遵守

1.　投稿される論文の研究を遂行するにあたっては，厚生労働省の医学研究に関する指針およびヘルシンキ宣言に準拠し十分配慮しなければならない．研究および論文発表に際しては，所属機関またはそれに準ずる機関で定められた倫理審査委員会の承認を得る．ただし，倫理審査委員会より倫理審査不要の判断がなされた場合には，その旨を論文に明記する．

以下に，承認が必要な場合の基準を提示する．

1-1.　原著

倫理審査委員会の承認が必須．

1-2.　症例報告，技術報告，短報

侵襲や介入があるもの，解析を行う観察研究，有効性評価や比較検討など研究性のあるもの，は症例数に関わらず承認が必要．

人を対象としていない場合や，「○○の症例を経験した」のみで症例報告の範疇の場合は，承認不要．なお，「○○の症例を経験した」のみで症例報告の範疇の場合は対象者（または代諾者）の承認を得ている旨を論文に明記する．聞き取り調査，アンケート調査の場合，保護対象の研究対象者が存在し，心的外傷に触れる質問を含んだものは侵襲とみなされる．

1-3.　総説，Letters to the editor

公表済論文から引用された記述や一般的に入手可能な資料のみを使用した場合，承認不要．

以上は一例であり，内容に応じて，適正な手続きを求める．

2.　研究および論文発表に際して，あらかじめ患者（または代諾者）よりインフォームドコンセントを受け，その内容を所属機関で記録しておくとともに，論文に明記する．場合によって編集委員長から記録の提出を求めることがある．

3.　患者個人を識別できる情報（他の情報と容易に照合でき，そのことで患者を識別できるものを含む）は論文に用いない．学術的に用いる必要がある場合は，患者（または代諾者）より文書にて同意を取得し，その旨論文に明記する．同意書コピーは論文に添付する．

4.　上記2.および3.について，患者および代諾者に説明を行えない場合，所属機関またはそれに準ずる機関の倫理審査委員会から論文発表の承認を受け，その旨を論文に明記する．

C.　利益相反

投稿される論文の内容に関して，全著者は，一般社団法人日本脳神経超音波と栓子検出学会「医学研究の利益相反に関する指針」および「医学研究の利益相反に関する細則」に基づき，申告すべき利益相反事項の有無を，「連絡票」および「利益相反自己申告書」にて申告のうえ，論文末尾，文献の前に記載する．有の場合は，著者名，企業または団体名，内容を記載する．提出された利益相反自己申告書は，「医学研究の利益相反に関する指針」および「医学研究の利益相反に関する細則」に定める通り取り扱う．

D.　投稿原稿の種類

総説・原著・症例報告・技術報告・短報・Letters to the editor・その他編集委員会の認めたものとし，他誌に未投稿，未発表のものとする．本誌に掲載された論文に対するLetters to the editorは，対象論文の掲載から可及的速やか（2か月以内）に投稿すること．

E.　原稿の書き方

1.　日本語あるいは英語とする．

2.　A4判白紙横書き25字24行で作成のこと（英文の場合1ページ約225words）．

3.　原稿の長さ

原稿種類	枚数（1枚：25字24行）	英文の場合	刷り上がりページ
総説	20枚以内	4500words以内	5ページ
原著	16枚以内	3600words以内	4ページ
症例報告	12枚以内	2700words以内	3ページ
技術報告	12枚以内	2700words以内	3ページ
短報	8枚以内	1800words以内	2ページ
Letters to the editor	4枚以内	900words以内	1ページ

注）図表・写真1枚は原稿1枚に換算する．
ただし，Letters to the editorは図表1点以内とする．

4.　論文は次の順に明記すること．

4-1.　表紙

表題（和文・英文併記）：但し表題が和文で50字または英文で15wordsを越える場合は和文30字以内または英文12words以内の欄外見出し文（running title）を付記すること．

著者名（和文・英文併記）：発表施設が複数の場合は著書名と施設名のそれぞれに番号を入れて区別できるようにすること．

所属（和文・英文併記）

連絡先（和文・英文併記）

4-2.　英文要旨（“Letters to the editor”は除く）

Presented by Medical*Online

200words 以内：ダブルスペース

4-3. 英文キーワード（“Letters to the editor”は除く）

2 ないし 5 個 ※ MeSH（Medical Subject Headings）に準じる.

4-4. 本文

原著，症例，技術報告，短報については目的，対象，方法，考察を明らかにすること.

また，第 2 項「B. 研究倫理指針の遵守」に求められた研究倫理項目を論文内に明記する.

4-5. 生成系 AI の使用

4-5-1. 生成系 AI は論文の説明責任を果たせないため，著者・共著者とは認めない.

4-5-2. 生成系 AI を使用した場合，著者・共著者の貢献と責任を明確にするため，使用したツールと目的を論文内に明記する.

4-5-3. 生成系 AI を利用して作成した原稿や図表等をそのまま論文に使用し，論文の一部または全体が既存の著作物と酷似した場合，剽窃とみなされることがある.

4-6. 文献

著者名は筆頭著者から第 3 著者まで記載し，第 4 著者以下は，和文では「他」，英文では「et al.」と記載する.

文献番号は本文に引用された順とし，本文中の引用箇所右肩に，上付で片カッコを付けて記す.

著者が他誌から図表等の転載をする場合には，著者自身で必ず転載許可をとることとする.

Letters to the editor は文献 3 編以内とする.

4-6-1. 雑誌

著者名：論文題名．雑誌名　発行年；巻：掲載ページ（始め－終わり）.

【例】

沼尾 文香，鈴木 圭輔，竹川 英宏，他：パーキンソン病とその関連疾患における経頭蓋超音波検査を用いた黒質高輝度変化の Gray Scale Median を応用した半定量的評価の検討．Neurosonology 2012; 25: 7-12.

von Reutern GM, Goertler MW, Bornstein NM, et al.: Grading carotid stenosis using ultrasonic methods. Stroke 2012; 43: 916-921.

雑誌名の略名は医学中央雑誌（日本語）または Journals in NCBI Databases（その他）に則（のっと）ること

4-6-2. 単行本

著者または編者（監修者）名：書名，発行地：発行所，発行年，総ページ数.

【例】

金谷春之，高倉公朋（監）：TCD マニュアル－経頭蓋超音波診断，東京，中外医学社，1996, 155 p.

Zwiebel WJ, Pellerito JS : Introduction to vascular ultrasonography, Philadelphia, PA: Elsevier Science, 2004, 496 p.

4-6-3. 単行本のなかの 1 編またはある章

著者名：章名，編者あるいは監修者名：書名，発行地：発行所，発行年，掲載ページ（始め－終わり）.

【例】

古幡博：原理，金谷春之，高倉公朋（監）：TCD マニュアル－経頭蓋超音波診断，東京：中外医学社，1996，p 26-30.

Saver JL, Feldmann E: Basic transcranial Doppler examination: Technique and anatomy, in: Babikian VL, Wechsler LR (Eds.), Transcranial Doppler Ultrasonography, St Louis, Mosby Publishing Co, 1993, p11–28.

4-6-4. 抄録号

著者名：演題名．雑誌名（第○回総会抄録集）発行年；巻（Suppl）：演題番号，掲載ページ（始め－終わり）.

【例】

藤代健太郎，原田昌彦，桝谷直司，他：頸動脈 IMT の肥厚に及ぼす因子の検討．第 33 回日本脳神経超音波学会総会プログラム・抄録集 2014; 27 (Suppl): O-8-5, 84.

Matthias Reinhard: Cerebral autoregulation: from concepts to clinical application. Neurosonology 2015; 28 (Suupl): PES-1, 65-66.

4-6-5. 電子文献

タイトルには媒体を明示し，上記①～④に指定した項目に続き，識別コードまたは閲覧先 URL.

【例】

一般社団法人日本脳神経超音波学会（編）：脳神経超音波マニュアル ver.2.0（CD-ROM）．大阪：一般社団法人日本脳神経超音波学会，2014, 322p.

Sugawara R, Horinaka S, Yagi H, et al.: Central blood pressure estimation by using N-point moving average method in the brachial pulse wave [internet]. Hypertens Res 2015; 38, 336–341; doi:10.1038/hr.2015.5.

Presented by Medical*Online

4-6-6. Webサイト，Webページ

著者名：Webページ名称．Webサイト名称（インターネット），（更新年月日，閲覧年月日），閲覧先URL．

更新年月日は，分からない場合，省略可．

Webサイトの名称が著者名と同じ場合，省略する．

【例】

国立循環器病研究センター：肺高血圧症の臨床所見と診断．循環器病情報サービス　くわしく知る循環器病／医療従事者向け（インターネット），（更新日 2011-10-31，閲覧日 2015-05-26），http://www.ncvc.go.jp/cvdinfo/target-doctor/pulmonary-hypertension.html#anchor-1.

U.S. National Library of Medicine: Structured Abstracts. Information for Publishers [internet]. [updated 2014 Oct 01, accessed 2015 Jul 23], http://www.nlm.nih.gov/bsd/policy/structured_abstracts.html.

4-7. 図表，写真

4-7-1. 図や写真はそのまま印刷可能な鮮明なものとし，使用ソフトは原則としてMicrosoft PowerPointとする．

4-7-2. カラー印刷を希望する場合はその旨を明記のこと．カラー印刷は有料となり，刷り上がり1頁につき2万円（税込）を請求する．

4-7-3. 図表はすべて英文とし，表題，表脚注，図説明は別紙に纏めて記載すること．ただし表に関しては表題，表本体，表脚注をまとめて記載してもよい．

4-7-4. Letters to the editorは図表1点以内とする．

5. 文字，記号等

5-1. 用語は「脳神経超音波学会用語解説集」に従う．

5-2. 数量の記号は原則として国際単位系（SI）に統一し，m，mm，μm，kg，g，mg，m^2，l，ml，h（時），min（分），s（秒），℃などとする（cmは慣用的に用いてもよい）

5-3. 数字は，アラビア数字を用いる．ただし，漢数字を含む名詞，形容詞，副詞などは除く．

漢字例）一部分，十数回，十二指腸

5-4. 年号表記は西暦とする．

5-5. 略語を使用する場合は，初出の個所に正式名を書き，それに続いて略語を括弧に入れて示す．演題および英文抄録中の略語の使用は避ける．

6. 電子ファイルの提出：本文，図の説明，表の説明文（表題，表脚注）または表（表題・表本体・表脚注），文献および英文要旨などの電子ファイルを提出するものとする．引用文献のうち，PubMedに登録されていない文献については，書誌事項（著者名，表題，誌名，年，巻，頁，など）が分かる部分をスキャンしたPDFファイルまたはコピーを添える．提出された電子ファイルの返却はしない．

F. 論文の採否

査読委員の査読結果にもとづき編集委員会が決定する．掲載にあたっては原稿の一部修正をお願いすることがある．また，場合により編集委員会の責任において修正を行うことがある．採用の場合は，原則として原稿を返却しない．

研究上の不正，多重投稿，無断投稿，倫理指針手続き違反など不適切行為の疑いが生じた場合，編集委員長に正当な理由が示されなければ，論文受付または採用決定を撤回する．掲載後は掲載を取り消し，その旨を学会誌等で公告する．

G. 著者校正

1回のみ行う．但し原稿の追加，大幅修正，データの修正などは認めない．

H. 著作権・出版権

本誌に掲載された論文（図表を含む）の著作権と出版権は一般社団法人日本脳神経超音波と栓子検出学会に帰属する．

I. 掲載費用

原則として無料であるが，規定のページ数を超過した場合は別途請求する．カラー印刷は有料となり，刷り上がり1頁につき2万円（税込）を請求する．

J. 別刷代

別刷は30部まで無料，超える分については1部100円の有料とする（著者校正依頼の際の添付書類により注文を受ける）．ただし，Letters to the Editorには別刷は作成しない．

K. 投稿方法

1. 投稿は電子メールを用いる．指定アドレスに，必要ファイルを添付し送信する．

連絡票／投稿申請書（本誌に綴じ込みのもの）を同時添付のこと．

ファイルは，送信前に，文字化けや鮮明度を確認する．

メール1通の受信容量は最大10MBまで．最大容量を超える場合は，複数回に分けて送信するか，CD-ROMで送付のこと．

2. 送付先アドレスおよび連絡先

neurosonology@dokkyomed.ac.jp

〒321-0293　栃木県下都賀郡壬生町北小林880

獨協医科大学病院 脳卒中センター 内

一般社団法人日本脳神経超音波と栓子検出学会機関誌編集室

編集委員長　竹川 英宏

Presented by Medical*Online

連　絡　票

・記入もれのないよう明記の上、論文に添付して下さい。
・投稿申請書も必ず論文に添付、または郵送してください。

表題	
筆頭著者	
所属	
住所	

掲載希望（該当にチェック）	数量を記入	
□総説　□原著　□症例報告　□技術報告　□短報	連絡票　1枚	投稿申請書＿＿枚
□Letters to the editor　□その他（　　）	図　＿＿枚	表　＿＿枚

Corresponding author 連絡先

氏名		所属/住所（筆頭著者所属/住所と異なる場合のみ） 〒
E-mail		
Tel	（内線）	
Fax		

研究倫理指針に基づく申告（投稿規程を確認のうえ、該当にチェックし、論文内に記載）

□倫理審査委員会の承認を得ている　→承認番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□倫理審査委員会で審査不要の判定を受けている→番号、判定記録等：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□倫理審査委員会承認は必要ない研究である→理由を記載：

（※症例報告等でも、侵襲、介入、解析、比較検討を行う研究は、症例数に関わらず承認が必要です）

理由：＿＿

＿＿

患者プライバシー保護に関する申告（投稿規程を確認のうえ、チェックし、論文内に記載）

□研究および論文発表について患者の同意を得ている

□論文内に患者個人を識別できる情報はない

※論文内に患者個人を識別できる情報がある場合、患者同意書（様式任意）コピーを論文に添付

COI　□利益相反状態の有無・内容を論文に記載し、利益相反自己申告書を著者全員分添付している

その他チェック項目

□論文内に、題名、著者名、所属、住所、Corresponding author 連絡先が和英併記されている

□論文内に、研究倫理、患者プライバシー、COI に関する申告内容が記載されている

□図表および図説明文が英文で作成されている

□図表ファイル内に図表番号が表示されている

□文献の記載は投稿規程に則っている

Presented by Medical*Online

投稿申請書

・著者は全員、署名欄に自署し、PDF 変換のうえ論文に添付、または編集室宛に別途郵送してください。
・連絡票も必ず論文に添付してください。

下記の論文を一般社団法人日本脳神経超音波と栓子検出学会機関誌 Neurosonology に投稿します。
なお、他誌へ類似論文の投稿はしません。
著者は全員、以上に同意、誓約します。　　年　　月　　日

論文題名

	所　属	署　名
筆頭著者		
共著者	所　属	署　名

一般社団法人日本脳神経超音波と栓子検出学会 機関誌編集室　　neurosonology@dokkyomed.ac.jp
〒321-0293　栃木県下都賀郡壬生町北小林 880　獨協医科大学病院 脳卒中センター 内

（コピーしてお使いください．学会ホームページからダウンロードも可能です．）

Presented by Medical*Online